



異界でふたたび出会う
もうひとつのラブストーリー



浜野佐知監督作品

雪子さんの足音

吉行和子 菜葉菜 寛一郎

大方斐紗子 野村万蔵 宝井誠明 佐藤浩市(友情出演)

製作:株式会社旦々舎 企画:鈴木佐知子 原作:木村紅美「雪子さんの足音」(講談社刊) 脚本:山崎邦紀 監督:浜野佐知
撮影:小山田勝治 照明:守利賢一 美術:山崎輝 録音:藤林繁 音楽:吉岡しげ美 編集:金子尚樹 衣裳:青木茂 ヘアメイク:清水惇子 CG:川村翔太 Photograph:岡田崇

協力:静岡市/株式会社アデランス 助成:文化庁文化芸術振興費補助会(映画創造活動支援事業) 独立法人日本芸術文化復興会

主演 吉行和子 × 監督 浜野佐知

原作: 木村紅美「雪子さんの足音」(講談社刊)

雪子さんと小野田さんの
真綿で首を絞めるような親切とお節介

「養子縁組すれば、
このアパートと土地を受け継げるのよ」

ご馳走に、出前に、ぼち袋!

「それなら出前にしましょう。
下で作ってお届けします。かき揚げは熱々ですよ」

「私は若い芸術家志望者の
パトロンになりたいの」



STORY

大家の雪子さんとは、はたして誰だったのだろう。そして、何を望んでいた?

学生時代を過ごした地方都市に出張してきた公務員の湯佐薫は、20年前に下宿した月光荘の大家、川島雪子さんが熱中症で孤独死したことを、新聞記事で知る。大学3年の夏、大家の雪子さんと下宿人の小野田さんと、二人の女性の過剰な好意と親切に窒息しそうになった日々が蘇る。

教養もあって文化的な香りを漂わせる老嬢の雪子さんと、肉親や職場の人間関係に屈折した感情を抱く小野田さんの、真綿で首を絞めるような善意と物質的な援助。当初はうまく利用しようとも考えたが、彼女たちの内奥に秘めた欲望とエネルギーに触れ、底知れない恐怖を覚えて逃げ出してしまったのだ。

20年後の今、薫は再び月光荘を訪れようとしている。月光荘を出てから、どういわけか女性と付き合うのが苦手になり、いままも独身で暮らしている。あの初夏から秋にかけての経験が、一生を支配する影を落としているのだろうか。

「親切で優しい大家のおばあさん」とは懸け離れた、一人の女性のリアルな闇が20年後の薫を包み、月光荘から天に続く階段を上っていく雪子さんの足音が聞こえてくる。



吉行和子 菜葉菜 寛一郎 大方斐紗子 野村万歳 宝井誠明 山崎ハコ 石崎なつみ 結城貴史 贈人 木口健太 村上由規乃 佐藤浩市(友情出演)

©株式会社且々舎 2019年 日本映画 カラー DCP 112分 ハイビジョンサイズ(16:9)ステレオ(5.1) 公式HP yukikosan-movie.com

5月18日(土)より公開決定!

前売り券発売中! 1300円(当日1800円のところ)

渋谷・文化村交差点左折

ユーロスペース

EUROSPACE

TEL03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

